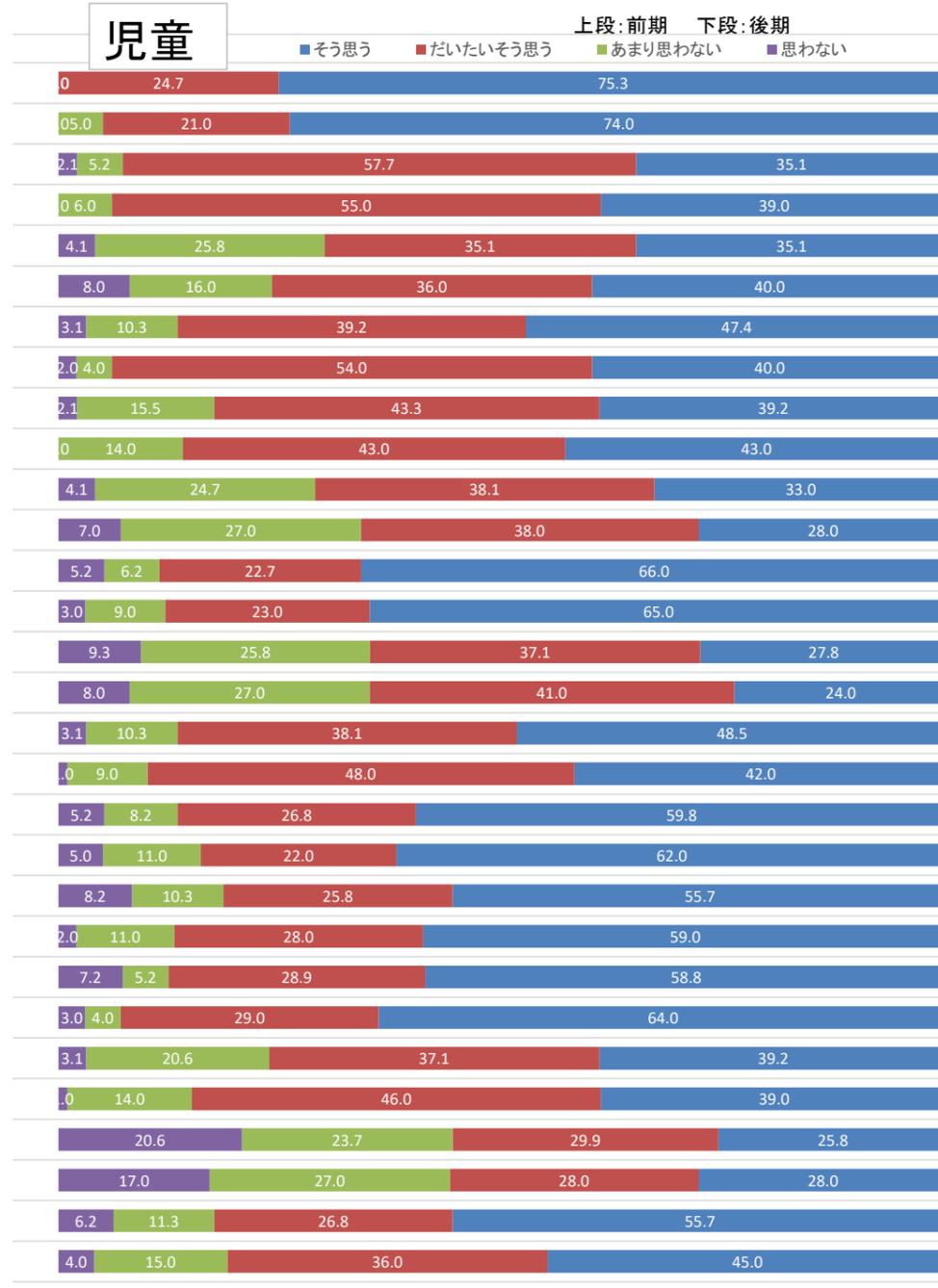
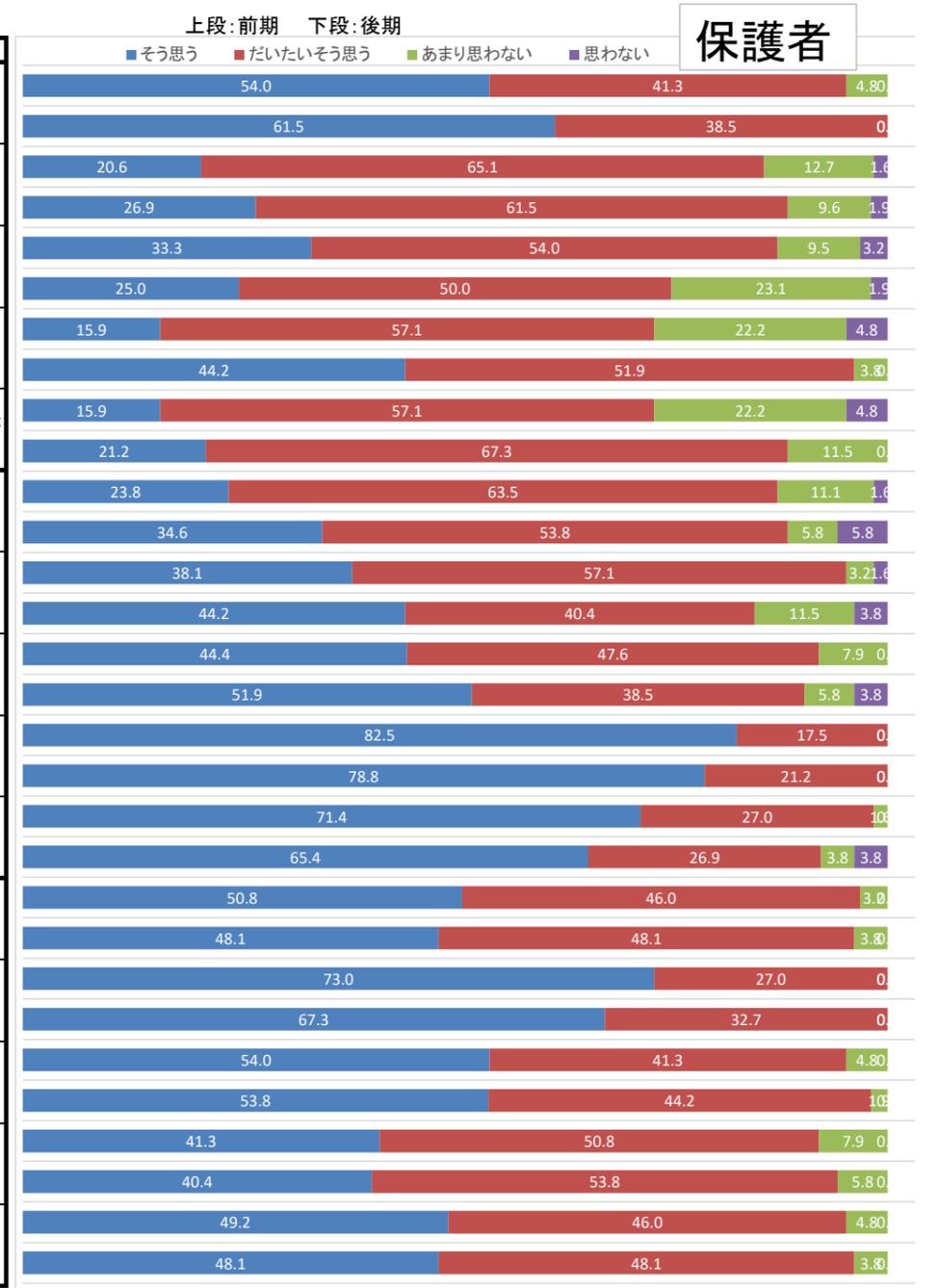


令和5年度 学校評価のまとめ

小野部田小学校



評価項目	児童	保護者
友だちと仲良く生活し、学校生活を楽しんでいる。	子どもは、友だちと仲良く生活し、学校生活を楽しんでいる。	
学校の授業はよく分かる。	子どもは、「授業が分かりやすい」と言っている。	
毎日決めた時間に家庭学習をしている。	子どもは、「家庭学習の習慣」が定着している。	
きまりやマナー(挨拶等を含む)を守って生活している。	子どもは、きまりやマナー(挨拶等を含む)を守って生活している。	
苦手なことにも粘り強く頑張っている。	子どもは、苦手なことにも粘り強く頑張ることができる。	
分からないときは、先生に質問している。	学校は、「分かりやすい授業づくり」に努めている。	
先生は、いいところを見つけ、ほめてくださる。	学校は、子どもの良さを見つけ、理解しようと努めている。	
困ったときは、先生に相談している。	学校は、保護者の相談に丁寧に答え、相談しやすい。	
教室やろうか、花壇をいつもきれいにしている。	学校は、施設や花壇等が管理され、美しい環境作りに努めている。	
先生は、ていねいな言葉で話される。	教職員の服装や言動・電話対応は、適切である。	
家の人から家庭学習にきちんと取り組むよう言われている。	家庭では、家庭学習にきちんと取り組むよう声かけを行っている。	
家の人とあいさつする。	家庭では、子どもとの挨拶を欠かさず、会話を心掛けている。	
早寝、早起き、朝ご飯を毎日欠かさない。	家庭では、基本的な生活習慣の定着に努めている。(早寝・早起き・朝ご飯等)	
家の人と、いじめや差別について話すことがある。	家庭では、いじめや差別について話題にし、豊かな心の育成に努めている。	
家の人と、ルールを守ることの大切さについて話している。	家庭では、ルールを守るなど、規範意識の育成を心がけている。	



【アンケート結果について】

○年間を通じて児童・保護者双方のアンケート結果で、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた割合が8割を超える項目も多く、全体的には高い評価をとっている。また、後期では、児童アンケートで、10項目、保護者アンケートでは、7項目前期より評価が向上した。特に、後期では、児童・保護者双方のアンケート結果で「学校が楽しい」「学校の授業はよくわかる」について「そう思う」と答えた割合が約90%であることは非常に評価できることであり、職員にとっても励みとなった。

○保護者も多くの項目で高評価をとっている。今後も、授業参観や各行事等において、児童の姿を通して本校の教育活動を見ていただき、さらに、学校だよりや学級通信等も活用しながら、本校教育活動への理解を深めていただけるよう取り組んでいきたい。

○家庭学習については、他の項目に比べ、児童及び保護者ともに数値が低く課題であったが、後期は肯定的な回答が増え、改善傾向が見られた。今後も家庭学習の充実に向けて、学校全体及び各学年の取組を進めてき成果と考えられる。今後も継続して取り組んでいきたい。

○前期児童・保護者共に肯定的回答が少なく課題であった、基本的な生活習慣や規範意識の項目も、後期は肯定的な回答が増え、改善傾向が見られた。

○児童・保護者ともに、いくつかの質問項目において「思わない」との回答があった。後期増えた項目もあるので、本校の課題として、真摯に受け止め、今後も粘り強く改善に取り組んでいきたい。